

明治以降の劇作家が新たな演劇を求め、何に挑んだかを探る。ヘリーディング&シンポジウム開催!!

秋元松代『常陸坊海尊』を読む!

日本の近代戯曲研修セミナー in 東京 第17回

“近代” 戯曲を読み直し、“現在” の問題を見つめ直す。

演劇史に綺羅星のように輝く戯曲から、そうでない戯曲まで、何が語られ、何が見捨てられてきたのか。新たな発見を求めて、戯曲を「読み」、そしてシンポジウムで「語る」。



リーディング演出／川口典成

日本の近代戯曲研修セミナーは、2018年度より、日本の戯曲セミナーという名称に変わります。60年代演劇の検証を含め、幅広く戯曲を紹介・研究する場となります。今回は、その橋渡しとして、60年代のアンガラ演劇の特徴である日本の土俗性への接続として、日本の説話構造を使いリアリズム戯曲を書いたと言える、秋元松代を取り上げます。

課題戯曲

秋元松代『常陸坊海尊』

研修日(全8回予定)

2月25日(日)
2月28日(水)
3月 1日(木)
3月 4日(日)
3月 9日(金)
3月11日(日)
3月13日(火)
3月16日(金)

リーディング発表&シンポジウム

3月17日(土)
3月18日(日)

各会場

梅ヶ丘BOX
(小田急線「梅ヶ丘」駅徒歩1分)

秋元松代 (1911年—2001年)

神奈川県生まれ。戦後、三好十郎に師事してラジオドラマなどを執筆。1964年に、源義経の都落ちに同行したが逃亡し生き延びたといわれる常陸坊海尊の伝説をモチーフに『常陸坊海尊』を執筆(1960年のラジオドラマが元になっている)。1965年にテレビドラマ『海より深き』で、和泉式部伝説をモチーフに執筆。1969年に『かさぶた式部考』として戯曲化された。1979年の『近松心中物語』は、蜷川幸雄の演出で帝国劇場で上演され、大衆的な人気を得、繰り返し上演されている。2001年、肺がんにて死去。2002年に筑摩書房より『秋元松代全集』全5巻が刊行される。



一般社団法人 日本演出者協会 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-12-30 芸能花伝舎3F
TEL: 03-5909-3074 FAX: 03-5909-3075 ✉ j_d_a_info@yahoo.co.jp <http://jda.jp/>